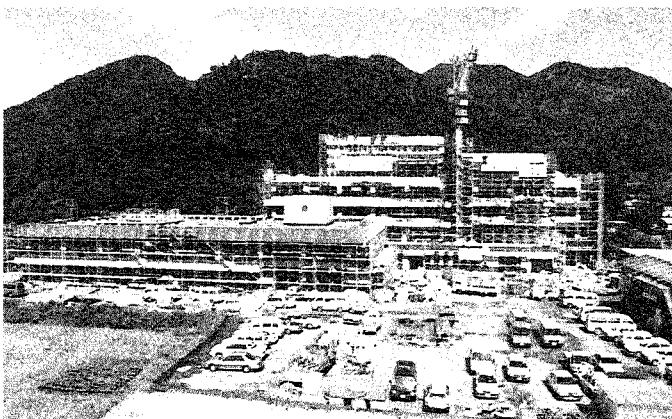


# 市立病院・老人保健施設

平成二年四月開院に向け

## 運営方法について検討が進められています



昨年十二月に着工した病院・老人保健施設は、平成二年四月開院に向けて順調に工事が行われています。

病院・老人保健施設の運営についても建設と並行して、現在まで受けながら、健全な病院運営が図

られるよう調査研究を行い検討してきました。

すでに運営されている全国の公立病院については、赤字経営の病院が数多く含まれており、病院会計が一般行政経費を圧迫し、市民サービスの低下を招くなど、各市町村にとって病院会計の赤字の解消は大きな課題となっています。

また、医師や医療スタッフの確保、医療サービスの提供などの面で直當方式には多くの問題点があります。

公設民営方式は、公共性と経済性の調和のとれた医療を行う上で最良の方法と考えられ、現在管理委託での運営について医療整備審議会（志村弘会長代行）に諮問し、慎重に審議が重ねられています。

一、管理委託の目的  
病院・老人保健施設の運営を管理委託で検討しているのは、公の施設を効果的に運営するため、他の公立病院の経営実態や市の置か

れている厳しい行政環境を考え、できる限り財政負担を抑え、その中で医療サービスの向上を図ることを目指したものです。

### 二、市立病院の位置づけ

運営が管理委託となつた場合でも、病院はあくまで市立病院であり、その責任は設置者である市長が負うものです。市民の病院に変りはありません。

当然、病院の予算・決算については議会の議決が必要であり、病院運営の全般について市が責任をもって行います。

三、職員の派遣、運営協議会  
職員のうち病院長、事務長、各課長等の主要ポストには、市から委託で派遣し、医師会、議会、学議会（志村弘会長代行）に諮問し、運営協議会（仮称）を設けますので市民の意見が十分に反映されま

民間の柔らかな思考に基づく経営が期待でき、かつ、医療サービスの向上、労務管理に柔軟に対応できるなど多くの利点をあげることができます。

また、運営による赤字が発生し

ても委託先の負担となるため、市の財政に影響を与えることはありません。一方、経営努力により黒字が発生した場合は、医療充実のために使うこととなります。

委託する場合は、自治医科大学を背景とした公共的団体である社

団法人地域医療振興協会に委託さ



医療整備審議会で運営方法について慎重に審議されています

四、管理委託の利点  
公立病院に民間の効率的な運営手法を結合させ、医療の公共性とい申し上げます。

五、法的根拠  
管理委託については、地方自治法によりその施設の設置目的を効果的に達成するために必要があると認められるときは、条例に定めその管理を委託することができるとしており、全国の病院では二十箇所が委託により運営されています。

現在、医療整備審議会において管理委託について具体的な内容を審議中ですが、市民の皆さんにも

待望の市立病院が健全に運営され、他市にない特色ある医療施設として経営できますようご協力をお願